

地球環境学舎入試説明会

京都大学大学院 地球環境学堂・学舎・三才学林 の紹介

平成28年 4年16日 京都会場(京大総合研究5号館)

平成28年 4年23日 東京会場(京大産連本部東京オフィス)

地球環境学堂長・学舎長 舟川 晋也



地球環境問題の解決のために・・・

- 地球環境問題は複雑多岐にわたっており、真理探究の側面と、問題を解決する実践的側面とを有している。したがって、
 - 学問としての先見性、深さと広がり具备了新しい「地球環境学」を開拓しうる高度な**研究者**の養成
 - 地球環境を持続可能な形態で改善・維持・管理する能力を有し、地球レベルから地域レベルにわたる具体的課題を解決しうる高度な**実務者**の養成

の双方が求められている。



概要

- 2002年4月設立
- 様々な分野の教員が参画している学際大学院
 - 政策学、法学、経済学
 - 工学（環境工学、土木工学、工業電気化学、建築学 etc.）
 - 理学（大気環境化学、生物工学 etc.）
 - 農学（土地利用、生態学、景観保全 etc.） など
- 教員総定数46名
 - 教授17名、准教授16名、助教13名
 - その他、他研究科・研究所の教員が協働分野教員として参画
- 学生数149名（2016年4月現在、博士57名、修士92名）
- 修了生629名（博士152名、修士477名）

地球環境学舎の特色

- 新しい研究・教育システムを構築している。
 - 幅広い学問分野の教育機会を提供。
 - 従来の自然科学・社会科学に立脚しつつ、新しい学問領域の構築を目標。
 - 国内外との諸機関との連携・交流により、現実問題を体験的に修得する体制を整備。
 - 多数の外国人教員、留学生との種々の英語授業・討議による国際的向上





大学院地球環境学堂・学舎の組織

- **地球環境学堂**（研究部：教職員の所属組織）
 - 3学廊（地球益学廊、地球親和技術学廊、資源循環学廊）
 - 約6割の教員・研究室は5～10年ごとに入れ替わる（流動分野）
- **地球環境学舎**（教育部：学生の所属組織）
 - 2専攻（地球環境学専攻、環境マネジメント専攻）
- **三才学林**（研究教育支援組織）
- **協働分野**（他の研究科、研究所との協働体制）
88の講座・分野・研究部門等、205名の教員
- 地球環境学堂に所属する教員の全員が、学舎の2専攻両方の教育にあたっています。

京都大学地球環境学大学院

地球環境学堂

地球益学廊

地球環境政策論
地球益経済論
持続的農村開発論
資源循環科学論
社会文化共生論
環境マーケティング論
環境学的アジア経済史論
環境教育論

地球親和技术学廊

環境調和型産業論
社会基盤親和技术論
人間環境設計論
環境生命技術論
景観生態保全論
環境適応エネルギー変換論

資源循環学廊

地域資源計画論
地震災害リスク論
大気環境化学論
生態系生産動態論
陸域生態系管理論
水域生物環境論分野

三才学林

地球環境学舎

地球環境学専攻

環境マネジメント専攻

学内協働分野

京都大学 研究科・研究所・研究センター

地球環境学堂（研究組織）

- 3つの基本コンセプトに従って、「学廊」を構成。
 - 地球益 （Global Benefit） → 地球益学廊
 - 地球親和 （Ecology） → 地球親和技术学廊
 - 資源循環 （Recycling and Natural Resources） → 資源循環学廊



京都大学地球環境学大学院

地球環境学堂

地球益学廊

地球環境政策論
地球益経済論
持続的農村開発論
資源循環科学論
社会文化共生論
環境マーケティング論
環境学的アジア経済史論
環境教育論

地球親和技术学廊

環境調和型産業論
社会基盤親和技术論
人間環境設計論
環境生命技術論
景観生態保全論
環境適応エネルギー変換論

資源循環学廊

地域資源計画論
地震災害リスク論
大気環境化学論
生態系生産動態論
陸域生態系管理論
水域生物環境論分野

三才学林

地球環境学舎

地球環境学専攻

環境マネジメント専攻

学内協働分野

京都大学 研究科・研究所・研究センター

地球環境学舎

専攻	目標	課程
地球環境学専攻	研究者養成	博士後期課程
環境マネジメント専攻	実務者養成	修士課程と博士後期課程

■ 教育の特徴

- 多分野に渡るコースワーク
- インターン研修
- フィールド実習
- 環境マネジメントセミナー
(学外講師の講演など)
- 国際的教育



京都大学地球環境学大学院

地球環境学堂

地球益学廊

地球環境政策論
地球益経済論
持続的農村開発論
資源循環科学論
社会文化共生論
環境マーケティング論
環境学的アジア経済史論
環境教育論

地球親和技术学廊

環境調和型産業論
社会基盤親和技术論
人間環境設計論
環境生命技術論
景観生態保全論
環境適応エネルギー変換論

資源循環学廊

地域資源計画論
地震災害リスク論
大気環境化学論
生態系生産動態論
陸域生態系管理論
水域生物環境論分野

三才学林

地球環境学舎

地球環境学専攻

環境マネジメント専攻

学内協働分野

京都大学 研究科・研究所・研究センター

三才学林

■ 研究教育支援組織

□ News letterの定期刊行

■ SANSAI Newsletter(No.1-9)

□ 京都町屋塾(はんなり京都嶋臺塾、平成16年から年3開催)

□ 地球環境フォーラム(平成20年から年3回開催)

□ 教員月例セミナー:地球環境学懇話会

□ 全学国際セミナー



Sansai Newsletter No.8 1 August 2014

GGSES throws party to welcome new students
By Izuru Saizen, associate professor, GGSES

On April 11, GGSES held an event at the Yoshida Co-op cafeteria to welcome its new intake of students. Thirty-nine master's students of environmental management, eight doctoral students of global environmental studies and four doctoral students of environmental management joined our graduate school at the start of the academic year. The new arrivals discussed future research with the faculty staff and current students, who also attended the party.

Contents
GGSES throws party to welcome new students
Izuru Saizen (associate professor, GGSES)
Vice-president of AIT visits Kyoto University
Michiko Hasegawa (researcher, CoEHO Educational Unit)
Nanami Kyoto Shimadajuku considers moss and air pollution
Akira Yoshino (associate professor, GGSES)
GGSES applies student completion of BML program
Gaku Matsuda (researcher, GGSES)
AY213 graduates hold thank-you party
Michiko Hasegawa (researcher, CoEHO Educational Unit)
First Global Environmental Studies Konwakai poster discussion
Yoshitaka Okumura (assistant professor, GGSES)
Second Global Environmental Studies Konwakai prompts debate
Tomohito Numata (assistant professor, GGSES)
Short-visit special auditing students outline study plans
Gaku Matsuda (researcher, GGSES)
GGSES Alumni Association celebrates 10th anniversary
Hidenori Harada (assistant professor, GGSES, and secretary, GGSES Alumni Association)
Global Environmental Forum presents problems from a new perspective
Shuichiro Shiotsuka (associate professor, GGSES)
KU sustainability fair brings together students, staff and citizens in month of activities
Trey Carron (associate professor, GGSES)

お知らせ / Announcement
GGSES holds international symposium in Can Tho, Vietnam
Hirotake Kobayashi (associate professor, GGSES)

Published by Sansai Gakurin, Kyoto University Graduate School of Global Environmental Studies Page 1

京都大学地球環境学大学院

地球環境学堂

地球益学廊

地球環境政策論
地球益経済論
持続的農村開発論
資源循環科学論
社会文化共生論
環境マーケティング論
環境学的アジア経済史論
環境教育論

地球親和技术学廊

環境調和型産業論
社会基盤親和技术論
人間環境設計論
環境生命技術論
景観生態保全論
環境適応エネルギー変換論

資源循環学廊

地域資源計画論
地震災害リスク論
大気環境化学論
生態系生産動態論
陸域生態系管理論
水域生物環境論分野

三才学林

地球環境学舎

地球環境学専攻

環境マネジメント専攻

学内協働分野

京都大学 研究科・研究所・研究センター

地球環境学堂・学舎における主な教育・研究プロジェクト等

		事業 (特定教員/PD)	主管/参画 [§]	内容 [#]	国*		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
教育		特別経費(Life&Green, 1)	東/堂農	A特別コース	VIC								
		環境リーダ(EML,2) / SGU	堂/IE	MD特別コース	V	H20							H28
		Global 30 (3)	全学	MD特別コース	-	H21							H31 H29
		森里海ユニット (1)	フ/堂農..	MD特別コース	-								
		特別経費(イノベーター,2)	堂/農工...	M3年ダブル学位	VTICL...								
研究		京大全学経費	堂単独	海外拠点運営	V								H30
		GCOE (HSE) (1)	工/堂防..	D研究教育	V	H20							
		GCOE (ARS) (1)	防/堂工..	D研究教育	-	H21							
		卓越した拠点形成	堂単独	D研究支援	-								
		JSPS拠点交流	堂単独	大学間交流	V(TCL)								H30
		JICA 草の根事業	堂単独	地域連携	V								
派遣		大学院 Good Practice(1)	堂単独	海外インターン	-	'09							
		JASSO/SV	堂/農ア	海外インターン	VTI								
		JSPS 頭脳循環	堂単独	若手留学	欧米								
		KU財団・総長裁量経費	堂単独	インターン助成	-								
		世界展開力	工/堂防	短期学生交流	TIMV								
		JSPS 頭脳循環(7e7n協働)	東/堂農..	若手留学招聘	ITVSC..								H28
招聘		JENESYS Program	堂単独	M招聘コース	V	H21							H28.9
		文科省奨学金優先配置(EML)	堂単独	D奨学金	V								
		JASSO/SS	堂単独	MD招聘	VCI	H21.10							
		JST さくらサイエンス	堂単独	U短期研修	V								

主管/参画[§]: 学堂 (地球環境学堂)、工(工学研究科)、E (エネルギー科学研究科)、農 (農学研究科)、東(東南アジア研究所)、防 (防災研究所)、フ(フィールド科学教育研究センター)、ア(アジアアフリカ研究科)、 内容[#]: D(博士課程)、M(修士課程)、U(学部)、A(特別聴講学生)、 国*: C(Cambodia), I(Indonesia), L(Laos), M(Malaysia), S (Singapore), T(Thailand), V(Vietnam)

海外サテライト形成によるASEAN横断型環境・社会イノベーター創出事業

日本とASEAN諸国との連携の重要性
ダイナミックかつ喫緊の環境・社会問題
多様な地域性と技術・システムの不適合

国策としての国際競争力強化と
実践人材の要請

地域性を理解し、**環境・社会問題の解決を実践する技術系グローバル人材**のニーズ

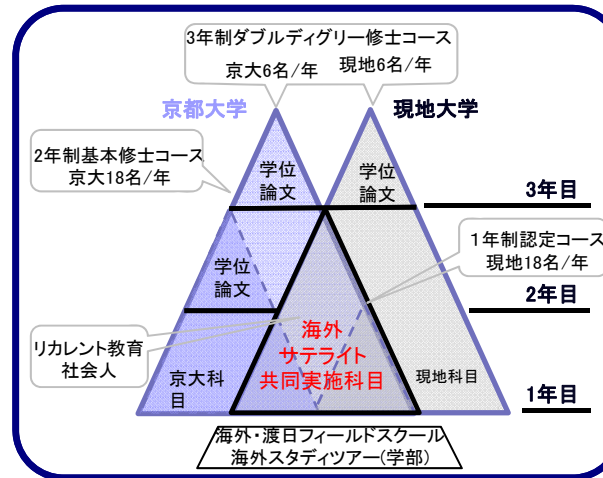
海外サテライトをベースとしたASEAN型適正技術イノベーション人材の創出

環境・社会イノベーターとして育成する人材像
多文化環境でリーダーシップを発揮する人材

地域理解・多文化協働により新たな価値を生み出す
企業技術者・社会起業家
科学技術外交を促進する**行政人材**
国際産学連携を担う**実践的研究者**

海外サテライトをベースとした教育プログラム
多彩なコースワークの提供による人材育成

現地大学との協力による海外サテライトをベースに、3年制修士ダブルディグリーを始め、多彩なコースワークを提供。また、日系グローバル企業等のコンソーシアムにより学生の実務教育、就職斡旋などを行う。



京都大学とASEANパートナー大学の多国教育連携による実施体制

京都大学コア拠点

事業統括／入試・教務／
教育プログラム整備

地球環境学 農学
工学 人間・環境学

国際交流推進機構
大学の国際展開戦略

学内他プログラムとの連携

「京大グローバルアカデミー構想」の一翼として大学教育の海外展開モデルを構築
「2x by 2020」の教育分野、国際貢献を推進

コンソーシアム

日系グローバル企業（メーカー、コンサル、商社等）、国際機関、各国政府

実地研修指導 授業提供 奨学金支援等
産学連携研究 リカレント教育 コンサルティング

海外サテライト

共同科目の実施／DDプログラムハブ／学生募集・選抜
パートナー大学内に設置
ベトナム・ハノイ理工科大学
インドネシア・ボゴール農業大学
タイ・マヒドン大学

修了生就職
コンサルティンク

修了生就職
コンサルティンク

教育プログラム提供
教員派遣

教育プログラム提供
教員派遣

京大ASEAN拠点（バンコク）・他海外拠点との連携

京大海外同窓会との連携

パートナー大学

ASEAN諸国大学／研究教育連携

ハノイ理工科大学 清華大学(深セン)
コンケン大学 フェエ大学
マヒドン大学 チャンパサック大学
ダナン大学
王立農業大学

マヤヤ大学

ボゴール農業大学 ハンティ工業大学

AUN(ASEAN大学連合)との連携



アジア等海外研修・出張 (学堂教員・学舎学生、平成23-25年度)

